

災害情報研究会 H28 年度 第 1 回議事録

1.日時：2016 年 4 月 15 日（金） 15:00～17:00

2.場所：BCAO 日本橋事務所

3.進行：市川座長（レスキューナウ）

4.PC:高橋（インフォコム）

5.記録：東根（建設環境）

6.出席者（6 名：敬称略・順不同）

市川（レスキューナウ）、高橋（インフォコム）、橋元（清水建設）、高木（富士通エフエス）、
上倉（セノン）、東根（建設環境）

7.実施内容

(1)情報交換（熊本地震他）

- ・長周期地震動階級 4 について
- ・地震報道について
- ・訓練

(2)アクションカードの編集作業

■アクションカード A23「発災の緊急連絡」

＜アクションフロー、アクションカード a-23 見直し＞

- ・説明文修正：現地災対本部→緊急対応チーム（災害対策本部及び現地対策本部）に変更、検知→覚知に変更
現地社員対応者が体感で地震を覚知する。
- ・知らせる先は緊急対応チーム（現地対策本部）。現地対応者から直接災害対策本部には知らせることはない。

■アクションカード A24「現地緊急対応要員の参集」

＜アクションフロー、アクションカード a-24 見直し＞

- ・現地緊急対策要員→現地緊急対応要員。用語の統一。
現地緊急対応要員は、現地の緊急対応チームの一員となる人。
現地社員対応者は、地震発生時にたまたま現地にいた社員。
現地社員対応者から、災害対応を行う緊急対応要員に発災直後に発生した事象を知らせる。
- ・説明文修正：現地緊急対応要員は~~地震の発生を検知し~~発生した地震が~~一~~規定以上の場合は現地対策本部へ~~自主的に~~参集する。
「参集」にはマニュアルに定められたルールに従い自主的（自発的）に集まるという意が含まれていると考える。
- ・i-2「発災直後の発生事象」をインプットに加える。

＜災害情報項目＞

- ・i-2 を加える。

＜アクションカード＞

- ・自分が非常参集者対象者であることを確認する。
- ・マニュアルに記載の名簿や基準等は自明のことなのでアクション手順に書く必要はない。記載はシンプルにする。

8.次回研究会

- ・日時：平成 28 年 5 月 20 日（金）15：00～17：00
- ・場所：BCAO 日本橋事務所
- ・議題：アクションカード A-25 以降の編集作業を実施

9.BCAO 総会（5/25 火曜日）

- ・5/25 午後に BCAO 総会があり、その午前中に各研究会の紹介発表がある。
- ・市川座長が所要のため、当研究会の発表は高橋副座長が行う。
- ・発表用の資料作成は松岡（富士通 FIP）氏に依頼する。昨年度の資料の修正（回数の修正等）及び H27 年度のトピックス（名古屋大学減災館見学、写真入りで）を掲載する。



平成 28 年 4 月 15 日災害情報研究会

以 上